

1 国語に関する調査

【特長】

- ・ ちらしの中の情報について、示す位置を変えた意図を説明したものとして適切なものを選択する問題に関して、正答した生徒が多かった。
- ・ 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかを見る問題に関して、多くの生徒がよくできていた。

【課題】

- ・ 評価の観点「知識・技能」の領域に改善の余地がある。基礎事項の定着を図る反復学習や小テストを計画的に取り入れ、理解の積み残しを減らす必要がある。
- ・ 記述式の問題に課題が見られ、無解答率も高い傾向が見られる。短文で答える練習から段階的に指導し、文章の型（意見＋理由、根拠＋具体例など）の習得を充実させる必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・ 関数の領域において、事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうか見る問題に関して、比較的できていた。
- ・ 事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうか見る問題に関して、比較的できていた。

【課題】

- ・ 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。文字を用いた式の意味を理解し活用できるような活動を充実させる必要がある。
- ・ 記述式の問題で、無解答の生徒が多い。日々の授業の中で、答えだけではなく、問題の過程を表現できる力を身につけさせたい。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・ 気体や密度など、原子や粒子などの微視的なものの見方、考え方が身についていた。火災における適切な避難行動を問うことで、気体の性質に関する知識が身についているかどうかを見る問題に関して、正答した生徒が多い。

【課題】

- ・ 身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決することにおいて課題がある。学習した内容を身近な現象に当てはめる活動を充実させる必要がある。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがどのくらいあるかという質問で、よくあると回答した生徒の割合が高い。生活環境や人間関係において良好な状態と考えられる。
- 授業において1、2年のときにPC、タブレットなどのICT機器をどの程度活用しているかという質問で、ほぼ毎日と回答した生徒の割合が高い。タブレットを利用した授業が生徒の中に定着しているものと考えられる。

【課題】

- 将来の夢や目標を持っていますかという質問で、持っていると回答した生徒が少なかった。普段の生活の中で、小さい事柄から目標を持って生活できるよう支援する必要がある。
- わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができるかという質問で、できていない、どちらかと言えばできていないと回答した生徒が少なくない。学習の自己調整力をつけるよう、指導方法を改善していく必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 生徒たちが将来を見据え、自己の進路について深く考えられるよう指導をしていく。その基本となる思考力を向上させるよう授業を工夫していく。
- 基礎的、基本的な知識の習得にさらに努めていく。また、文章や説明を記述することに対して日々の授業の中で練習をさせ、書くことに対する力を向上させたい。
- ICT機器の活用において、今後とも充実を図り、生徒自ら学び方を考え、工夫することができるように、普段の授業や学校生活の中で取り組んでいきたい。
- 普段から生徒たちが気軽に相談できるよう、教師が受容的態度を持ち、かつ生徒たちにアドバイスができる時間、機会を増やしていきたい。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 普段の生活の中で、子どもたちは様々なことに取り組んでいます。頑張っていることは褒め、これからも子どもたちが生活に充実感を持てるように声かけをしていただくとともに、他の人の意見を聞き、それを受け入れる態度を日々の生活の中で育めるように、ご支援をお願いします。
- 将来子どもたちが自己実現のために、どのような進路に向かうべきなのか、ぜひ話し合う機会を持ち、自分自身の進路を考えるきっかけを与えてくださいますよう、お願いします。
- これからも学校運営協議会や各地域関係団体と協力しながら、生徒たちが地域とつながり、将来、地域の担い手となるようにご支援をお願いします。